

【6年】 Unit 1 This is me.

自分の興味・関心を伝えるために、内容を整理して自己紹介をすることができる。

[話すこと 発表] 内容を整理して、自己紹介をすることができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ Where are you from? I'm from I live in や I'm good at I'm interested in などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ 出身国や住んでいる所、得意なことや興味のあることについて話す技能を身につけている。《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	<p>出身国や住んでいる所、得意なことや興味のあることについて、<u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u>、伝えている。</p>	<p>出身国や住んでいる所、得意なことや興味のあることについて、<u>学習した語句や表現のいずれかを用いて</u>、伝えている。</p>	<p>出身国や住んでいる所、得意なことや興味のあることについて、伝えることがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>自分の興味・関心を伝えるために、内容を整理して、簡単な語句や基本的な表現を用いて自己紹介をしている。</p> <p>[評価項目：考えの整理・構成]</p>	<p>自分の興味・関心を伝えるために、出身国や住んでいる所、得意なことや興味のあることについて、<u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませたり整理したりして</u>、発表している。</p>	<p>自分の興味・関心を伝えるために、出身国や住んでいる所、得意なことや興味のあることについて、<u>教科書の例を参考にし</u>て、発表している。</p>	<p>自分の興味・関心を伝えるために、一人では、出身国や住んでいる所、得意なことや興味のあることについて、自分の考えを発表することがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>自分の興味・関心を伝えるために、内容を整理して、簡単な語句や基本的な表現を用いて自己紹介をしようとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	<p>自分の興味・関心を伝えるために、聞き手に伝わりやすいように、<u>ジェスチャーや発表資料を工夫して</u>、発表しようとしている。</p>	<p>自分の興味・関心を伝えるために、聞き手に伝わりやすいように、<u>発表資料をわかりやすく提示したりしながら</u>、発表しようとしている。</p>	<p>自分の興味・関心を伝えるために、一人では、聞き手に伝わりやすいように発表しようとしていることがまだ難しい。</p>

【発話例】

Hi, Lizzy. I'm Yukari. I'm from Japan. I live in Saitama. I'm good at swimming. I can swim 50m. Do you like swimming?

* 既習表現を使って内容を膨らませている
* 相手に対してそれが好きかどうかをたずねている。

【発話例】

Hi, Lizzy. I'm Yukari. I'm from Japan. I live in Saitama. I'm good at swimming.

【改善点を含む発話例】

* 教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。
* 単語レベルの発話である。
* 相手に聞こえる声で発話できていない。

【6年】Unit 2 Welcome to Japan.

外国の人に興味をもってもらうために、日本の行事を紹介することができる。

[話すこと 発表] 日本の行事やできることを紹介することができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ In ~, we have や You can see/eat/visit/enjoy などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ 好きな季節の行事や日本でできることについて話す技能を身につけている。《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	好きな季節の行事や日本でできることについて、 <u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u> 、伝えている。	好きな季節の行事や日本でできることについて、 <u>学習した語句や表現のいずれかを用いて</u> 、伝えている。	好きな季節の行事や日本でできることについて、伝えることがまだ難しい。
思考・判断・表現	<p>外国の人に興味をもってもらうために、日本の行事やできることを、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介している。</p> <p>[評価項目：考えの整理・構成]</p>	外国の人に興味をもってもらうために、日本の行事やできることについて、 <u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませたり整理したりして</u> 、発表している。	外国の人に興味をもってもらうために、日本の行事やできることについて、 <u>教科書の例を参考に</u> して、発表している。	外国の人に興味をもってもらうために、一人では、日本の行事やできることについて、自分の考えを発表することがまだ難しい。
主体的に学習に取り組む態度	<p>外国の人に興味をもってもらうために、日本の行事やできることを、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介しようとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	外国の人に興味をもってもらうために、聞き手に伝わりやすいように、 <u>ジェスチャーや発表資料を工夫して</u> 、発表しようとしている。	外国の人に興味をもってもらうために、聞き手に伝わりやすいように、 <u>発表資料をわかりやすく提示したりしながら</u> 、発表しようとしている。	外国の人に興味をもってもらうために、一人では、聞き手に伝わるように発表しようとするのがまだ難しい。

【発話例】

Hello, Mr. Rowland. Welcome to Japan. In spring, we have *hanami*. You can visit Honcho Park. You can see beautiful cherry blossoms. You can eat *yakitori* and sushi. You can eat sakuramochi, too.

*相手に呼びかける一言を添えている。
*具体的な情報を複数付け加えている。

【発話例】

Hello. In spring, we have *hanami*. You can see cherry blossoms. You can eat *yakitori* and sushi.

【改善点を含む発話例】

*教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。
*単語レベルの発話である。
*相手に聞こえる声で発話できていない。

【6年】 Unit 3 What time do you get up?

おたがいのことをよく知るために、ふだんの生活についてたずね合うことができる。

[書くこと] 自分の1日の生活の様子を書くことができる。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ I always/usually/sometimes/never ... などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ 何時に何をするかということや、家でしている手伝いについて伝える文を、語順に注意して書く技能を身につけている。《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	<p>何時に何をするかということや、家でしている手伝いについて、<u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u>、語順に注意して<u>正しく</u>書いている。</p>	<p>何時に何をするかということや、家でしている手伝いについて、<u>学習した語句や表現のうちいずれかを用いて</u>、語順に注意して書いている。</p>	<p>何時に何をするかということや、家でしている手伝いについて、書くことがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>おたがいのことをよく知るために、自分の1日の生活の様子を、簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。</p> <p>[評価項目：考えの整理・構成]</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、<u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませたり整理したりして</u>、1日の生活の様子を書いている。</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、<u>教科書の例を参考にして</u>、1日の生活の様子を書いている。</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、一人では、1日の生活の様子を書くことがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>おたがいのことをよく知るために、自分の1日の生活の様子を、簡単な語句や基本的な表現を用いて書こうとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、読み手に伝わりやすいように、<u>丁寧に書いたり、読み返して書き直したりして、正しく書こうとしている。</u></p>	<p>おたがいのことをよく知るために、読み手に伝わりやすいように、<u>丁寧に書こうとしている。</u></p>	<p>おたがいのことをよく知るために、一人では、読み手に伝わるように書こうとすることがまだ難しい。</p>

【文例】

My Day
 I usually get up at 6:00.
 I sometimes walk the dog.
 I usually go home at 3:00.
 I sometimes go to the library.
I like books very much.
I sometimes read books after dinner.
I always go to bed at 10:00.

*前の文の補足となる1文を加えている。
 *1日の生活の流れがわかるように、文を構成している。

【文例】

My Day
 I usually get up at 6:00.
 I sometimes walk the dog.
 I usually go home at 3:00.
 I sometimes go to the library.

【改善点を含む文例】

*教科書で繰り返し出てくる学習表現を書くことが難しい。

【6年】Unit 3 What time do you get up?

おたがいのことをよく知るために、ふだんの生活についてたずね合うことができる。

[話すこと やり取り] 友達の文を読んで、内容についてたずね合うことができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ What time do you ...? や I always/usually/ sometimes/never などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ 何時に何をするかということや、家でしている手伝いについて伝え合う技能を身につけている。《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	<p>何時に何をするかということや、家でしている手伝いについて、<u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u>、伝え合っている。</p>	<p>何時に何をするかということや、家でしている手伝いについて、<u>学習した語句や表現のいずれかを使って</u>伝え合っている。</p>	<p>何時に何をするかということや、家でしている手伝いについて伝え合うことがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>おたがいのことをよく知るために、ふだんの生活について簡単な語句や基本的な表現を用いてたずね合っている</p> <p>[評価項目：やり取りの流れ]</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、ふだんの生活について、<u>内容を加えながら相手に伝えた</u>り、<u>相手の話すことに一言加えて返答したりして</u>伝え合っている。</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、ふだんの生活について、相手に伝えたり、<u>相手の話すことに反応する表現を返し</u>ながら伝え合っている。</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、一人では、伝え合ったり、相手の言うことに反応したりすることがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>おたがいのことをよく知るために、ふだんの生活について簡単な語句や基本的な表現を用いてたずね合おうとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、相手に伝わりやすいように<u>ジェスチャーを工夫して</u>伝えたり、<u>相手の理解度を確かめながら</u>、わかりやすく伝え合おうとしている。</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、<u>相手に伝わるように</u>伝えたり、<u>相手の話すことにうなづいたりしながら</u>、伝え合おうとしている。</p>	<p>おたがいのことをよく知るために、一人では、相手を意識して伝え合おうとすることがまだ難しい。</p>

【発話例】

A: Do you walk the dog in the morning?

B: Yes. I sometimes walk the dog after school.

A: I see. Do you like books?

B: Yes. How about you?

A: I like books, too. I like "Harry Potter."

A: Wow! Me, too.

* 文の内容に関して、情報を引き出すための質問をしている。

* 質問に答えるだけでなく、新しい情報を加えている。

* 質問に答えるだけでなく、相手のことについてもたずねている。

【発話例】

A: What time do you eat breakfast?

B: I usually eat breakfast at 7:00.

A: I see. Do you like books?

B: Yes.

A: Good.

【改善点を含む発話例】

* 教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。

* 単語レベルの発話である。

* 相手に聞こえる声で発話できていない。

【6年】 You can do it! 1 Me on the Map を作って日本を紹介をしよう。

Me on the Map を作って、日本を紹介することができる。

[話すこと 発表] Me on the Map を作って日本の紹介をすることができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・これまでに学習したThis is やI like I live in We have などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・自分のこと、学校のこと、地域のこと、日本のことなどについて話す技能を身につけている。《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	<p>自分のこと、学校のこと、地域のこと、日本のことについて、<u>既習の語句や表現を十分に活用して</u>、伝えている。</p>	<p>自分のこと、学校のこと、地域のこと、日本のことについて、<u>既習の語句や表現のいずれかを</u>用いて、伝えている。</p>	<p>自分のこと、学校のこと、地域のこと、日本のことについて、伝えることがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>世界の友達に知ってもらうために、Me on the Map を作り、自分が住む日本のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介している。</p> <p>[評価項目：考えの整理・構成]</p>	<p>世界の友達に知ってもらうために、Me on the Map を作り、自分が住む日本のことについて、<u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませたり整理したりして</u>、発表している。</p>	<p>世界の友達に知ってもらうために、Me on the Map を作り、自分が住む日本のことについて、<u>教科書の例を参考に</u>して、発表している。</p>	<p>世界の友達に知ってもらうために、一人では、Me on the Map を作り、自分が住む日本のことについて、自分の考えを発表することがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>世界の友達に知ってもらうために、Me on the Map を作り、自分が住む日本のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介しようとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	<p>世界の友達に知ってもらうために、聞き手に伝わりやすいように、<u>ジェスチャーや発表資料を工夫して</u>、発表しようとしている。</p>	<p>世界の友達に知ってもらうために、聞き手に伝わりやすいように、<u>発表資料をわかりやすく提示したりしながら</u>、発表しようとしている。</p>	<p>世界の友達に知ってもらうために、一人では、聞き手に伝わりやすいように発表しようとするのがまだ難しい。</p>

【発話例】

Hello. I'm Emiri.
This is me. I like volleyball.
This is my school, Honcho Elementary School. I like arts and crafts.
This is my town. I live in Kyoto.
You can visit Kinkaku-ji. Do you know Kinkaku-ji? It's beautiful.
This is my prefecture. We have many old temples and shrines.
This is my country, Japan. You can see Mt. Fuji. It's beautiful.
This is our planet. We live on the earth. Let's be friends.

*具体的な情報を加えている。
*相手に問いかけている。

【発話例】

Hello. I'm Emiri.
This is me. I like volleyball.
This is my school. I like arts and crafts.
This is my town. I live in Kyoto.
This is my prefecture. We have many temples.
This is my country. You can see Mt. Fuji.
This is our planet. We live on the earth. Let's be friends.

【改善点を含む発話例】

*教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。
*単語レベルの発話である。
*相手に聞こえる声で発話できていない。

【6年】 Unit 4 My Summer Vacation

夏休みの思い出を伝え合うために、絵日記を書くことができる。

[書くこと] 夏休みの思い出を伝える絵日記を書くことができる。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ I went to/ate/saw/enjoyed や How was it? It was などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ 夏休みにしたことやその感想を伝える文を、語順に注意して書く技能を身につけている。《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	<p>夏休みの思い出について、<u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u>、語順に注意して<u>正しく</u>書いている。</p>	<p>夏休みの思い出について、<u>学習した語句や表現のうちいずれかを用いて</u>、語順に注意して書いている。</p>	<p>夏休みの思い出について、書くことがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>夏休みの思い出を伝えるために、夏休みにしたことやその感想について、簡単な語句や基本的な表現を用いて絵日記に書いている。</p> <p>[評価項目：考えの整理・構成]</p>	<p>自分の夏休みの思い出を伝えるために、<u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませたり整理したりして</u>、絵日記を書いている。</p>	<p>自分の夏休みの思い出を伝えるために、<u>教科書の例を参考にし</u>て、絵日記を書いている。</p>	<p>自分の夏休みの思い出を伝えるために、一人では、絵日記を書くことがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>夏休みの思い出を伝えるために、夏休みにしたことやその感想について、簡単な語句や基本的な表現を用いて絵日記に書こうとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	<p>夏休みの思い出を伝えるために、読み手に伝わりやすいように、<u>丁寧に書いたり、読み返して書き直したりして、正しく書こう</u>としている。</p>	<p>夏休みの思い出を伝えるために、読み手に伝わりやすいように、<u>丁寧に書こう</u>としている。</p>	<p>夏休みの思い出を伝えるために、一人では、読み手に伝わるように書こうとすることがまだ難しい。</p>

【文例】

(My Summer Vacation)

I went to Akita.

My grandparents live in Akita.

I enjoyed a summer festival.

I saw beautiful fireworks.

I ate watermelon.

It was big and delicious.

* 夏休みに行った場所や食べたものについて情報を加えている。

【文例】

(My Summer Vacation)

I went to Akita.

I enjoyed a summer festival.

I ate watermelon.

It was delicious.

【改善点を含む文例】

* 教科書で繰り返し出てくる学習表現を書くことが難しい。

【6年】 Unit 4 My Summer Vacation

夏休みの思い出を伝え合うために、絵日記を書くことができる。

【話すこと 発表】 夏休みの思い出を発表することができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ What did you do in summer? I went to/ate/saw/enjoyed や How was it? It was などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ 夏休みにしたことやその感想について話す技能を身につけている。《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	<p>夏休みにしたことやその感想について、<u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u>、伝えている。</p>	<p>夏休みにしたことやその感想について、<u>学習した語句や表現のいずれかを用いて</u>、伝えている。</p>	<p>夏休みにしたことやその感想について、伝えることがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>夏休みの思い出を伝えるために、夏休みにしたことやその感想について、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表している。</p> <p>[評価項目：考えの整理・構成]</p>	<p>夏休みの思い出を伝えるために、夏休みにしたことやその感想について、<u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませたり整理したりして</u>、発表している。</p>	<p>夏休みの思い出を伝えるために、夏休みにしたことやその感想について、<u>教科書の例を参考に</u>して、発表している。</p>	<p>夏休みの思い出を伝えるために、一人では、夏休みにしたことやその感想について、自分の考えを発表することがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>夏休みの思い出を伝えるために、夏休みにしたことやその感想について、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表しようとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	<p>夏休みの思い出を伝えるために、聞き手に伝わりやすいように、<u>ジェスチャーや発表資料を工夫して</u>、発表しようとしている。</p>	<p>夏休みの思い出を伝えるために、聞き手に伝わりやすいように、<u>発表資料をわかりやすく提示したりしながら</u>、発表しようとしている。</p>	<p>夏休みの思い出を伝えるために、一人では、聞き手に伝わりやすいように発表しようとするのがまだ難しい。</p>

【発話例】

(My Summer Vacation)
Hello, everyone.
My grandparents live in Akita. I went to Akita in summer.
 I enjoyed a summer festival. I saw beautiful fireworks.
 I ate watermelon. It was delicious.
Thank you.

* 聴衆への呼びかけや御礼の言葉が入っている。
 * 夏休みに行った場所についての情報を加えている。
 * 夏祭りについての詳しい内容を加えている。

【発話例】

(My Summer Vacation)
 I went to Akita.
 I enjoyed a summer festival.
 I ate watermelon.
 It was delicious.

【改善点を含む発話例】

* 教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。
 * 単語レベルの発話である。
 * 相手に聞こえる声で発話できていない。

【6年】Unit 5 We live together.

動物たちの気持ちを伝えるために、ポスターを書くことができる。

〔書くこと〕動物の気持ちを伝えるポスターを書くことができる。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ [～] eat ... や I live in/eat/have ... などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ 動物が食べるものや動物になったつもりで言うことを伝える文を、語順に注意して書く技能を身につけている。《技能》</p> <p>〔評価項目：語句や表現の使用〕</p>	<p>動物が食べるものや動物になったつもりで言うことについて、<u>学習した語句や表現に既習のもの</u>を加え、語順に注意して<u>正しく</u>書いている。</p>	<p>動物が食べるものや動物になったつもりで言うことについて、<u>学習した語句や表現のうちいづれか</u>を用いて、語順に注意して書いている。</p>	<p>動物が食べるものや動物になったつもりで言うことについて、書くことがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>動物の気持ちを伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、動物についてのポスターを書いている。</p> <p>〔評価項目：考えの整理・構成〕</p>	<p>動物の気持ちを伝えるために、<u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませたり整理したりして</u>、ポスターを書いている。</p>	<p>動物の気持ちを伝えるために、<u>教科書の例を参考にして</u>、ポスターを書いている。</p>	<p>動物の気持ちを伝えるために、一人では、ポスターを書くことがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>動物の気持ちを伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、動物についてのポスターを書こうとしている。</p> <p>〔評価項目：相手意識・伝える工夫〕</p>	<p>動物の気持ちを伝えるために、読み手に伝わりやすいように、<u>丁寧に書いたり、読み返して書き直したりして、正しく書こうと</u>している。</p>	<p>動物の気持ちを伝えるために、読み手に伝わりやすいように、<u>丁寧に書こうと</u>している。</p>	<p>動物の気持ちを伝えるために、一人では、読み手に伝わりやすいように書こうとすることがまだ難しい。</p>

【文例】

(Polar Bear)
I live on the ice.
I can swim well.
I eat fish.
I want a lot of ice.
Can you help me?

*情報を付け加えている。
*読み手に訴える一文を加えている。

【文例】

(Polar Bear)
I live on the ice.
I'm big and white.
I eat fish.
I want a lot of ice.

【改善点を含む文例】

*教科書で繰り返し出てくる学習表現を書くことが難しい。

【6年】Unit 6 I want to go to Italy.

世界の国々のみりょくを伝えるために、旅行会社の人になって紹介することができる。

[話すこと やり取り] 行きたい国について話し合うことができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ In ～, you can や Where do you want to go? I want to go to などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ 自分が行きたい国とその理由について伝え合う技能を身につけている。《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	<p>自分が行きたい国とその理由について、<u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u>、伝え合っている。</p>	<p>自分が行きたい国とその理由について、<u>学習した語句や表現のいずれかを用いて</u>、伝え合っている。</p>	<p>自分が行きたい国とその理由について、伝え合うことがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>自分たちが行く国を決めるために、行きたい国とその理由について、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。</p> <p>[評価項目：やり取りの流れ]</p>	<p>自分たちが行く国を決めるために、自分が行きたい国とその理由について、<u>内容を加えながら相手に伝えたり、相手の話すことに一言加えて返答したりして</u>、伝え合っている。</p>	<p>自分たちが行く国を決めるために、自分が行きたい国とその理由について、相手に伝えたり、<u>相手の話すことに反応する表現を返ししながら</u>、伝え合っている。</p>	<p>自分たちが行く国を決めるために、一人では、伝え合ったり、相手の言うことに反応したりすることがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>自分たちが行く国を決めるために、行きたい国とその理由について、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	<p>自分たちが行く国を決めるために、相手に伝わりやすいように<u>ジェスチャーを工夫して伝えたり、相手の理解度を確かめながら</u>、わかりやすく伝え合おうとしている。</p>	<p>自分たちが行く国を決めるために、<u>相手に伝わるように伝えたり、相手の話すことにうなづいたりしながら</u>、伝え合おうとしている。</p>	<p>自分たちが行く国を決めるために、一人では、相手を意識して伝え合おうとすることがまだ難しい。</p>

【発話例】

A: Where do you want to go?
 B: I want to go to Kenya. I want to see wild animals. How about you?
 A: I want to go to Italy. I want to see a lot of old buildings. I want to eat delicious Italian food, too.
 B: Umm, that's good. OK. Let's go to Italy.

* 具体的な理由を加えている。
 * 相手の意見を引き出すための一言を加えている。
 * 相手の言うことに反応を示す一言を加えている。

【発話例】

A: Where do you want to go?
 B: I want to go to Kenya.
 A: I want to go to Italy. I want to eat delicious Italian food, too.
 B: OK. Let's go to Italy.

【改善点を含む発話例】

* 教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。
 * 単語レベルの発話である。
 * 相手に聞こえる声で発話できていない。

【6年】 Unit 6 I want to go to Italy.

世界の国々のみりよくを伝えるために、旅行会社の人になって紹介することができる。

[話すこと 発表] 世界の国々のみりよくを伝えることができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ In ～, you can や Where do you want to go? I want to go to などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ その国でできることについて話す技能を身につけている。《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	その国でできることについて、 <u>学習した語句や表現に既習のもの</u> を加え、伝えている。	その国でできることについて、 <u>学習した語句や表現のいずれか</u> を用いて、伝えている。	その国でできることについて、伝えることがまだ難しい。
思考・判断・表現	<p>世界の国々の魅力を伝えるために、その国でできることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介している。</p> <p>[評価項目：考えの整理・構成]</p>	世界の国々の魅力を伝えるために、その国でできることについて、 <u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませたり整理したりして</u> 、発表している。	世界の国々の魅力を伝えるために、その国でできることについて、 <u>教科書の例を参考にして</u> 、発表している。	世界の国々の魅力を伝えるために、一人では、その国でできることについて、自分の考えを発表することがまだ難しい。
主体的に学習に取り組む態度	<p>世界の国々の魅力を伝えるために、その国でできることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介しようとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	世界の国々の魅力を伝えるために、聞き手に伝わりやすいように、 <u>ジェスチャーや発表資料を工夫して</u> 、発表しようとしている。	世界の国々の魅力を伝えるために、聞き手に伝わりやすいように、 <u>発表資料をわかりやすく提示したりしながら</u> 、発表しようとしている。	世界の国々の魅力を伝えるために、一人では、聞き手に伝わりやすいように発表しようとするのがまだ難しい。

【発話例】

A: Hello. Do you like Italy?
 B: In Italy, you can see a lot of old buildings. You can eat delicious Italian food, too. You can eat delicious pizza.
 A: You can visit Venice. You can buy beautiful Venetian glass.
 B: Italy is a nice country. Do you want to go to Italy?

* 情報を付け加えている。
 * 聞き手に呼びかけたり、紹介を締めくくる一言を加えたりしている。

【発話例】

A: In Italy, you can see a lot of old buildings.
 B: You can eat delicious Italian food.
 A: You can visit Venice.

【改善点を含む発話例】

* 教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。
 * 単語レベルの発話である。
 * 相手に聞こえる声で発話できていない。

【6年】 You can do it! 2 英語のトーク番組にちょうせんしよう。

司会者とゲストに分かれて、英語のトーク番組を行うことができる。

〔話すこと やり取り〕さいころを使って、英語のトーク番組にちょうせんすることができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・これまでに学習した Where do you want to go? や What season do you like? などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・あこがれの人、好きな季節、夏休みにしたこと、行きたい国などについて伝え合う技能を身につけている。《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	<p>あこがれの人、好きな季節、夏休みにしたこと、行きたい国などについて、<u>既習の語句や表現を十分に活用して</u>、伝え合っている。</p>	<p>あこがれの人、好きな季節、夏休みにしたこと、行きたい国などについて、<u>既習の語句や表現のいずれかを用いて</u>、伝え合っている。</p>	<p>あこがれの人、好きな季節、夏休みにしたこと、行きたい国などについて、伝え合うことがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>選ばれたテーマについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてやり取りをしている。</p> <p>[評価項目：やり取りの流れ]</p>	<p>トーク番組を続けるために、あこがれの人、好きな季節、夏休みにしたこと、行きたい国などについて、<u>内容を加えながら相手に伝えたり、相手の話すことに一言加えて返答したりして</u>、伝え合っている。</p>	<p>トーク番組を続けるために、あこがれの人、好きな季節、夏休みにしたこと、行きたい国などについて、相手に伝えたり、<u>相手の話すことに反応する表現を返しながら</u>、伝え合っている。</p>	<p>トーク番組を続けるために、一人では、伝え合ったり、相手の言うことに反応したりすることがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>選ばれたテーマについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてやり取りしようとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	<p>トーク番組を続けるために、相手に伝わりやすいようにジェスチャーを工夫して伝えたり、<u>相手の理解度を確かめながら</u>、わかりやすく伝え合おうとしている。</p>	<p>トーク番組を続けるために、<u>相手に伝わるように</u>伝えたり、<u>相手の話すことにうなづいたりしながら</u>、伝え合おうとしている。</p>	<p>トーク番組を続けるために、一人では、相手を意識して伝え合おうとすることがまだ難しい。</p>

【発話例】

AとBが司会者。CとDがゲスト。

A: Hello, everyone. Today we have 2 guests, C and D.

C: Hi.

D: Hello.

B: Let's talk. C, you go ahead.

C: OK. (サイコロを振る。3の目が出る。) 3.

B: Where do you want to go?

C: I want to go to Australia.

A: Oh, you want to go to Australia? Why?

C: I want to enjoy whale watching.

A: I see. Thank you.

B: Next, D, it's your turn.

D: OK. (サイコロを振る。1の目が出る。) Oh, 1.

A: Well, who is your hero?

D: My hero is Ohtani Shohei.

B: He is great. Do you like baseball?

D: Yes. I want to see a Major League Baseball game.

A: Me, too. Thank you.

*相手の言ったことを繰り返して確認している。

*相手の答えたことに反応して、さらに質問を加えている。

*話題を探して、会話を続けようとしている。

【発話例】

AとBが司会者。CとDがゲスト。

A: Hello, everyone.

C: Hi.

D: Hello.

B: Let's talk.

C: (サイコロを振る。3の目が出る。)

B: Where do you want to go?

C: I want to go to Australia.

B: Next, D.

D: (サイコロを振る。1の目が出る。)

A: Who is your hero?

D: My hero is Ohtani Shohei.

A: I see. Thank you.

【発話例】

*教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。

*単語レベルの発話である。

*相手に聞こえる声で発話できていない。

【6年】Unit 7 My Dream

自分の将来について考えるために、「夢宣言」をすることができる。

[書くこと] 中学校生活の「夢宣言」を書くことができる。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・I want to join ~. や I want to be などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・中学校でしたいことや将来つきたい職業を伝える文を、語順に注意して書く技能を身につけている。《技能》</p> <p>〔評価項目：語句や表現の使用〕</p>	<p>将来の夢について、<u>学習した語句や表現に既習のものを加え、語順に注意して正しく</u>書いている。</p>	<p>将来の夢について、<u>学習した語句や表現のうちいずれかを用いて、語順に注意して</u>書いている。</p>	<p>将来の夢について、書くことがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>自分の将来について考えるために、中学校生活の「夢宣言」を、簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。</p> <p>〔評価項目：考えの整理・構成〕</p>	<p>自分の将来について考えるために、<u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませたり整理したりして、「夢宣言」</u>を書いている。</p>	<p>自分の将来について考えるために、<u>教科書の例を参考にして、「夢宣言」</u>を書いている。</p>	<p>自分の将来について考えるために、一人では、「夢宣言」を書くことがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>自分の将来について考えるために、中学校生活の「夢宣言」を、簡単な語句や基本的な表現を用いて書こうとしている。</p> <p>〔評価項目：相手意識・伝える工夫〕</p>	<p>自分の将来について考えるために、<u>丁寧に書いたり、読み返して書き直したりして、正しく書こう</u>としている。</p>	<p>自分の将来について考えるために、<u>丁寧に書こう</u>としている。</p>	<p>自分の将来について考えるために、一人では、読み手に伝わるように書こうとすることがまだ難しい。</p>

【文例】

(My Dream)

I like art very much.

I want to join the art club.

I'm good at drawing.

I'm interested in fashion.

I want to be a designer.

I want to make cool T-shirts.

* 入りたい部活動の理由を加えている。

* 将来つきたい職業について、理由を加えている。

【文例】

(My Dream)

I want to join the art club.

I'm good at drawing.

I want to be a designer.

I want to make cool T-shirts.

【改善点を含む文例】

* 教科書で繰り返し出てくる学習表現を書くことが難しい。

【6年】Unit 7 My Dream

自分の将来について考えるために、「夢宣言」をすることができる。

〔話すこと 発表〕中学校生活の「夢宣言」をくわしく発表することができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ What club do you want to join? や What do you want to be? などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ 中学校でしたいことや将来つきたい職業とその理由などについて話す技能を身につけている。《技能》</p> <p>〔評価項目：語句や表現の使用〕</p>	<p>中学校でしたいことや将来つきたい職業とその理由などについて、<u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u>、伝えている。</p>	<p>中学校でしたいことや将来つきたい職業とその理由などについて、<u>学習した語句や表現のいずれかを用いて</u>、伝えている。</p>	<p>中学校でしたいことや将来つきたい職業とその理由などについて、伝えることがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>自分の将来について考えるために、中学校生活の「夢宣言」を、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表している。</p> <p>〔評価項目：考えの整理・構成〕</p>	<p>自分の将来について考えるために、中学校でしたいことや将来つきたい職業とその理由などについて、<u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませたり整理したりして</u>、発表している。</p>	<p>自分の将来について考えるために、中学校でしたいことや将来つきたい職業とその理由などについて、<u>教科書の例を参考にし</u>て、発表している。</p>	<p>自分の将来について考えるために、一人では、中学校でしたいことや将来つきたい職業とその理由などについて、自分の考えを発表することがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>自分の将来について考えるために、中学校生活の「夢宣言」を、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表しようとしている。</p> <p>〔評価項目：相手意識・伝える工夫〕</p>	<p>自分の将来について考えるために、聞き手に伝わりやすいように、<u>ジェスチャーや発表資料を工夫して</u>、発表しようとしている。</p>	<p>自分の将来について考えるために、聞き手に伝わりやすいように、<u>発表資料をわかりやすく提示したりしながら</u>、発表しようとしている。</p>	<p>自分の将来について考えるために、一人では、聞き手に伝わりやすいように発表しようとしていることがまだ難しい。</p>

【発話例】

Hello, everyone.
I like art. I want to join the art club.
 I'm good at drawing pictures. I want to study art. I want to be a designer.
I'm interested in fashion. I want to make cool T-shirts.
Thank you.

*聴衆への呼びかけや御礼の言葉が入っている。
 *部活動に入りたい理由や、将来つきたい職業に関する詳しい内容を加えている。

【発話例】

I want to join the art club.
 I'm good at drawing.
 I want to be a designer.
 I want to make cool T-shirts.

【改善点を含む発話例】

*教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。
 *単語レベルの発話である。
 *相手に聞こえる声で発話できていない。

【6年】 Unit 8 My Best Memory

思い出を共有するために、学校行事の出来事や感想を発表することができる。

〔話すこと 発表〕 学校行事の思い出を発表することができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ My best memory is や We went to/saw/played などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ 思い出に残った学校行事や、そのときに行った場所やしたことなどについて話す技能を身につけている。《技能》</p> <p>〔評価項目：語句や表現の使用〕</p>	<p>思い出に残った学校行事や、そのときに行った場所やしたことについて、<u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u>、伝えている。</p>	<p>思い出に残った学校行事や、そのときに行った場所やしたことについて、<u>学習した語句や表現のいずれかを用いて</u>、伝えている。</p>	<p>思い出に残った学校行事や、そのときに行った場所やしたことについて伝えることがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>思い出を共有するために、学校行事の思い出を、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表している。</p> <p>〔評価項目：考えの整理・構成〕</p>	<p>思い出を共有するために、思い出に残った学校行事や、そのときに行った場所やしたことについて、<u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませたり整理したりして</u>、発表している。</p>	<p>思い出を共有するために、一人出に残った学校行事や、そのときに行った場所やしたことについて、<u>教科書の例を参考にし</u>て、発表している。</p>	<p>思い出を共有するために、一人では、思い出に残った学校行事や、そのときに行った場所やしたことについて、自分の考えを発表することがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>思い出を共有するために、学校行事の思い出を、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表しようとしている。</p> <p>〔評価項目：相手意識・伝える工夫〕</p>	<p>思い出を共有するために、聞き手に伝わりやすいように、<u>ジェスチャーや発表資料を工夫して</u>、発表しようとしている。</p>	<p>思い出を共有するために、聞き手に伝わりやすいように、<u>発表資料をわかりやすく提示したりしながら</u>、発表しようとしている。</p>	<p>思い出を共有するために、一人では、聞き手に伝わりやすいように発表しようとするのがまだ難しい。</p>

【発話例】

Hello, everyone. My best memory is our camping trip. We cooked dinner. We ate curry and rice. It was delicious. We saw many beautiful stars. It was fantastic. I enjoyed camping very much. Thank you.

- * 具体的な情報を追加している。
- * 他にしたことを追加している。
- * 自分の感想を述べている。

【発話例】

Hello, everyone. My best memory is our camping trip. We cooked dinner. It was fun. Thank you.

【改善点を含む発話例】

- * 教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。
- * 単語レベルの発話である。
- * 相手に聞こえる声で発話できていない。

【6年】 Unit 8 My Best Memory

思い出を共有するために、学校行事の出来事や感想を発表することができる。

[話すこと やり取り] スピーチを聞いて、質問したり、感想を伝えたりすることができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>・ My best memory is や We went to/saw/played などの表現や関連語句を理解している。《知識》</p> <p>・ 思い出に残った学校行事や、そのときに行った場所やしたことなどについて伝え合う技能を身につけている。《技能》</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	<p>学校行事の思い出や感想について、<u>学習した語句や表現に既習のものを加え</u>、伝え合っている。</p>	<p>学校行事の思い出や感想について、<u>学習した語句や表現のいずれかを用いて</u>、伝え合っている。</p>	<p>学校行事の思い出や感想について、伝え合うことがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>思い出を共有するために、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達に質問したり感想を伝えたりしている。</p> <p>[評価項目：やり取りの流れ]</p>	<p>思い出を共有するために、学校行事の思い出や感想について、<u>内容を加えながら相手に伝えたり、相手の話すことに一言加えて返答したりして</u>、伝え合っている。</p>	<p>思い出を共有するために、学校行事の思い出や感想について相手に伝えたり、<u>相手の話すことに反応する表現を返し</u>ながら、伝え合っている。</p>	<p>思い出を共有するために、一人では、伝え合ったり、相手の言うことに反応したりすることがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>思い出を共有するために、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達に質問したり感想を伝えようとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	<p>思い出を共有するために、相手に伝わりやすいように<u>ジェスチャーを工夫して伝えたり、相手の理解度を確かめながら</u>、わかりやすく伝え合おうとしている。</p>	<p>思い出を共有するために、<u>相手に伝わるように伝えたり、相手の話すことにうなづいたりしながら</u>、伝え合おうとしている。</p>	<p>思い出を共有するために、一人では、相手を意識して伝え合おうとすることがまだ難しい。</p>

【発話例】

(A: Hello, everyone. My best memory is our camping trip. We went camping last year. We cooked dinner. It was fun. We saw many beautiful stars. It was fantastic. I enjoyed camping very much. Thank you.)

B: We cooked curry and rice. How was it?

A: It was delicious.

B: I enjoyed fishing. How about you?

A: I enjoyed fishing, too.

B: How was it?

A: It was exciting.

B: That's great.

*自身の体験を織り混ぜて質問をしている。

*最後に感想を伝えている

【発話例】

(A: Hello, everyone. My best memory is our camping trip. We went camping last year. We cooked dinner. It was fun. We saw many beautiful stars. It was fantastic. I enjoyed camping very much. Thank you.)

B: I enjoyed fishing. How about you?

A: I enjoyed fishing, too.

B: How was it?

A: It was exciting.

【改善点を含む発話例】

*教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。

*単語レベルの発話である。

*相手に聞こえる声で発話できていない。

【6年】 You can do it! 3 English Festival を開こう。

English Festival を開き、いろいろな催し物や発表を楽しむことができる。

[話すこと 発表] もよおし物や発表のきかくを立てて、English Festival を開くことができる。

◇発音・文法の正確さについては評価の対象としない。

	Here We Go! 評価規準	A 十分満足できる姿	B おおむね満足できる姿	C 努力を要する状態
知識・技能	<p>〈知識〉 これまでに学習した表現や語句を理解している。</p> <p>〈技能〉 これまでに学習した表現を用いて、読んだり話したり書いたりする技能を身につけている。</p> <p>[評価項目：語句や表現の使用]</p>	<p>発表したい内容について、<u>既習の語句や表現を十分に活用して</u>、伝えている。</p>	<p>発表したい内容について、<u>既習の語句や表現のいずれかを用いて</u>、伝えている。</p>	<p>発表したい内容について、伝えることがまだ難しい。</p>
思考・判断・表現	<p>English Festival を楽しむために、グループで企画を立て、簡単な語句や基本的な表現を用いて催し物や発表を行っている。</p> <p>[評価項目：考えの整理・構成]</p>	<p>English Festival を楽しむために、グループでの催し物について、<u>教科書の例を参考にしながら、内容を膨らませたり整理したりして</u>、発表している。</p>	<p>English Festival を楽しむために、グループでの催し物について、<u>教科書の例を参考に</u>して、発表している。</p>	<p>English Festival を楽しむために、一人では、グループでの催し物について、自分の考えを発表することがまだ難しい。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>English Festival を楽しむために、グループで企画を立て、簡単な語句や基本的な表現を用いて催し物や発表を行おうとしている。</p> <p>[評価項目：相手意識・伝える工夫]</p>	<p>English Festival を楽しむために、聞き手に伝わりやすいように、<u>ジェスチャーや発表資料を工夫して</u>、発表しようとしている。</p>	<p>English Festival を楽しむために、聞き手に伝わりやすいように、<u>発表資料をわかりやすく提示したりしながら</u>、発表しようとしている。</p>	<p>English Festival を楽しむために、一人では、聞き手に伝わりやすいように発表しようとしていることがまだ難しい。</p>

【発話例】

Quiz Showの例（話すこと 発表）

A, B: "Who am I?" quiz.

A: Question 1.

I'm an animal. I'm white and small. I have long ears. Who am I?

(pause) Yes. I'm a rabbit.

B: Question 2.

I'm a boy. I like school lunch. I want to be a teacher. Who am I? (pause)

Yes. I'm Shota.

* 情報を付け加えている。

* 教科書の内容を工夫して活用している。

【発話例】

Quiz Showの例（話すこと 発表）

A: "Who am I?" quiz.

Question 1.

I'm an animal. I have long ears.

Who am I? (pause)

Yes. I'm a rabbit.

【改善点を含む発話例】

* 教科書で繰り返し出てくる学習表現を言うことが難しい。

* 単語レベルの発話である。

* 相手に聞こえる声で発話できていない。